

## 安心安全の確保

### 地域づくりの推進

- 市民活動サポートセンター事業 227万円  
市民活動サポートセンターを中心に協働のまちづくりを推進します。
- 循環バス運行事業 9,000万円  
地域公共交通の利便性を確保するため、市内6コースの運行を維持します。
- デマンドタクシー利用助成事業 2,088万円  
交通弱者(75歳以上の高齢者および障害者)の移動手段を確保するため、利用料金の一部を助成します。
- 防犯灯設置費及び電気料補助事業 1,222万円  
自治会に対し、防犯灯の新設、修繕などの費用の一部および電気料の一部を補助します。

### 適切なインフラの整備

- 幹線道路整備事業 1,617万円  
主要幹線道路整備(須加地区土地購入など)を行います。
- 橋りょう長寿命化事業 5,179万円  
道路法の改正に伴う橋りょう点検を実施します。
- 排水路等整備事業 2億4,197万円  
側溝や排水路の改良工事の他、西新町などで出水対策を行います。



消防車両の更新・整備

### 防災体制の強化

- 老朽空き家等解体補助事業 350万円  
老朽化した空き家の解体を促進するため、工事費用の一部を補助します。
- 消防施設整備事業 1億312万円  
消防車両の更新や消防団庁舎の改修を行います。
- 公共施設耐震化関連事業 3億7,440万円  
小・中学校、産業文化会館、総合体育館、教育文化センターの非構造部材耐震改修工事などを実施します。
- ☆全国瞬時警報システム(Jアラート)受信機更新事業 450万円  
弾道ミサイル情報や緊急地震速報などを瞬時に市民に伝達するため、受信機および付属機器を更新し、システムの機能拡張を図ります。
- ☆洪水ハザードマップ作成事業 324万円  
国土交通省から新たな浸水想定区域が示されたため、洪水ハザードマップを改訂します。

## 魅力あるまちの創出

### 健康づくりの推進

- 市民けんこう大学開催事業 82万円  
地域への健康づくり意識普及の原動力となる人材を育成します。
- 健康づくりチャレンジポイント事業 126万円  
健康づくり事業への参加に対するポイント制度により、活動参加を促進します。(達成者全員に行田商店共通商品券を贈呈)
- ☆空気も美味しいお店認定事業 5万円  
終日全面禁煙かつその表示がされている店舗に対し、認定ステッカーを交付します。
- 薬局を拠点とした健康づくり事業 84万円  
市内の薬局において糖尿病検査および禁煙サポートを実施します。



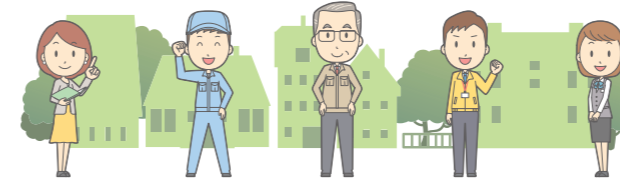
はつらつ教室で健康づくり

### 賑わいある都市拠点の整備

- 行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業 7,043万円  
行田市駅周辺における地域資源を生かしたまち並み景観づくりを実施し、賑わいの創出を図ります。
- JR行田駅前広場周辺再整備事業 1億2,500万円  
南の玄関口として魅力ある駅前を実現するため、一体的な整備を行います。
- 旧忍町信用組合店舗保存・活用事業 898万円  
旧忍町信用組合店舗の保存・活用を通じて、街なかの賑わい創出を図ります。
- ☆水城公園東側園地再整備事業 1,600万円  
水城公園の東側園地再整備工事などを実施します。
- ☆都市公園の賑わい創出事業 50万円  
公園利用者のニーズ多様化に対応するため、古代蓮の里でバーベキュー試行調査を実施します。

### 地域資源などの活用による交流人口の拡大

- 観光客誘致推進事業 4,151万円  
「忍城おもてなし甲冑隊」による観光PR活動や観光案内所の運営などにより、観光客の誘致を促進します。
- 田んぼアート米づくり体験事業 900万円  
事業を通じて米作振興や農業への理解を深めます。
- 国登録有形民俗文化財資料整備事業 504万円  
行田の基幹産業であった足袋産業に関する資料整理と調査を行います。



## 人口減少対策

### 企業誘致などによる雇用環境の創出

- 起業家支援助成事業 1,384万円  
市内の空き店舗などを利用する新規起業者に、家賃および改装に要した費用の助成を行います。
- 企業立地促進事業 1億8,032万円  
優遇措置などにより、企業が進出しやすい環境を整備し、優良企業の誘致や雇用の創出を図ります。
- エコノミックガーデニング事業 1,707万円  
事業拡大における設備投資への補助や、企業情報交流サイトの運営など、地元中小企業が活躍できるビジネス環境を創出します。
- 若小玉地区産業団地整備事業 2,580万円  
企業誘致の用地として産業団地を整備することで、地域産業の活性化と雇用の創出を図ります。

### 特色ある教育の推進

- いじめ対策事業 1,412万円  
「いじめそうだんホットライン」の設置、アンケートによる学校集団アセスメント、ネットパトロールなどを実施します。
- 小中学校英語活動推進事業 5,097万円  
ネイティブの外国語指導助手(ALT)を配置し、小中学校全学年で英語活動を実施します。
- 少人数学級編制事業 1億2,994万円  
市費負担教職員の任用により、小・中学校全学年について、国・県基準よりも少人数の35人以下学級とします。
- パワーアップサポーター配置事業 1,101万円  
児童の学力と教師の指導力向上を図るため、ベテランの非常勤講師を市内小学校へ配置し、学力の向上を図ります。
- きらきらサポーター配置事業 3,600万円  
小・中学校の特別支援学級などで、児童・生徒の学校生活をサポートします。
- マイ足袋作製体験事業 136万円  
小学校3年生の「ぎょうだの学習」のまとめとして、マイ足袋作製体験学習を実施します。

# 平成30年度 主な施策と 予算額

☆印は新規事業

### 子育て環境の充実

- 子育て世帯定住促進事業 4,740万円  
子育て世帯が住宅を取得した場合に、奨励金や商品券の支給を行い、定住の促進を図ります。
- ☆移住・定住プロジェクト事業 478万円  
官民協働で移住・定住の促進を図るとともに、大手検索サイトへのバナー広告の掲出や、移住・定住コンシェルジュの配置、移住体験ツアーの開催などを通じて、本市の魅力を広く市外へ発信します。
- 子ども医療費支給事業 2億6,712万円  
平成30年10月1日から、支給対象年齢を18歳までに拡大します。
- 多子世帯給食費給付事業 800万円  
市立小・中学校または特別支援学校に在籍している子どもを3人以上養育している保護者に対し、3人目以降の子どもについて学校給食費の補助(無償化)を実施します。
- 放課後児童対策事業 1億8,739万円  
放課後における児童の預かりニーズに対応するため、合計17カ所で学童保育を実施します。



マイ足袋作製体験学習の様子

## その他の施策

- ふるさと納税促進事業 2,058万円  
ふるさと納税専門ポータルサイト、クレジットカード決済の活用および記念品の送付などにより、ふるさと納税を促進します。
- 斎場火葬炉改修事業 2,078万円  
老朽化した斎場の火葬炉を順次更新します。
- ☆学校給食センタートイレ改修事業 2,500万円  
衛生基準に合ったトイレにすることで衛生面を強化し、より安心・安全な給食を提供します。



斎場外観